仮想のまちで社会の仕組みを学ぶ

2月23日、鹿屋女子高校で「第８回キッズビジネスタウン®」が開催されました。これは小学生を対象に、高校生が作った仮想のまちで働いたり買い物をしたりすることで、経済や社会の仕組みを体験してもらう取り組み。児童は35のブースで実際に働いて給料をもらい、消費活動や納税を行います。当日は保護者を合わせて約700人が参加し、多くの児童が目を輝かせて仕事に挑戦していました。

本市３件目のネーミングライツ

2月20日、市役所で「ネーミングライツ契約調印式」が行われました。ネーミングライツとは、民間企業等に対し有償で公共施設の愛称の命名権を付与するもの。今回は、市内に事業所を持つ株式会社クレバリーホーム（千葉県）がネーミングライツパートナーとなり、市体育館の愛称が「クレバリーホームアリーナ」に決定しました。契約は４月１日〜令和９年３月31日となっています。

社会教育に尽力した個人・団体を表彰

2月15日、市役所で「令和５年度鹿屋市社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰式」が行われました。これは、長期にわたって社会教育に尽力し特に功労のあった個人及び団体を表彰し、その功績に報いるとともに社会教育の一層の振興を図ることを目的としたもの。本年度は７個人と３団体が受賞し、社会教育委員や関係者が見守るなか、表彰状と記念品が贈られました。

Hot News

ホットニュース

かのやのホットな話題をお届け！

市ホームページにほかの写真も掲載中！

硬式野球の交流戦県内各地で対戦

2月23日〜3月10日、「薩摩おいどんカップ2024」が開催されました。これは、県内各地で大学・社会人・プロがカテゴリーを越えて対戦する硬式野球の交流戦。本市では４試合が行われ、24日は毎年本市で合宿を行うHonda（ホンダ）硬式野球部と鹿屋体育大学硬式野球部が対戦。地元高校の吹奏楽部によるブラスバンドが鳴り響く中、約800人の来場者は白熱した戦いを楽しみました。

ロードレース開幕戦観客を魅了

2月24日、県立大隅広域公園周辺特設コースで「第2回JBCF鹿屋・肝付ロードレース」が開催されました。この大会は国内最高峰の「JBCFサイクルロードシリーズ2024」の開幕戦として行われ、全国から73チーム276人が出場。地元プロチーム「CIEL BLEU KANOYA（シエル ブルー カノヤ）」は、多くの声援を受けながら終盤のスプリント勝負まで力走を見せるなど、迫力ある熱い戦いを繰り広げました。

五穀豊穣（ごこくほうじょう）を願い春祭で奉納

2月18日、山宮神社（串良町細山田）で地域の五穀豊穣を願う「山宮神社春祭」が行われました。この祭りは約450年の歴史を持つ伝統行事で、県の無形民俗文化財にも指定されています。この日は、堂園・馬掛集落による「正月踊」、２本の木を絡ませ引き合う「カギヒキ」、また、木製の牛でユーモラスに田をならす「田打（たうち）」が奉納され、参加者は４年ぶりの祭りを楽しんでいました。

田崎中男子バスケ部が九州大会へ

2月15日、田崎中学校男子バスケットボール部が市役所を訪れました。これは「鹿児島県中学生新人バスケットボール大会（九州大会予選）」で優勝し、佐賀県で行われる九州大会へ出場することを報告するもので、大隅半島の中学校が同大会で優勝するのは初めて。キャプテンの國吉慶（くによしけい）さんは「九州大会でも活躍できるように、練習でも一層努力して試合を楽しみたい」と話しました。

県の代表として空手道で全国出場

2月26日、上之原壱仁（うえのはらいちひと）選手と園田晟稀（そのだせいき）選手が市役所を訪れました。2人は３月に京都府で開催される「第18回全国中学生空手道選抜大会」に県の代表として出場することを報告。「スピードと知識をつけて本番に臨みたい」と話しました。

小学生女子レスリング全国で結果を出す

2月26日、坂元桃（さかもともも）選手と野口姫（のぐちひらり）選手が市役所を訪れました。2人は１月に東京都で開催された「第28回全国少年少女レスリング選手権大会」に出場し、坂元選手は30kg級で優勝。野口選手は+44kg級で準優勝に輝きました。

県内の民泊関係者が情報交換

2月19日、県内のグリーン・ツーリズム関係者の情報交換を目的に、リナシティかのやで「かごしまグリーン・ツーリズムフォーラムin鹿屋市」が行われました。参加者は基調講演のほかテーマ別に実施された分科会で関係者との交流を深めました。

母子寡婦ひとり金婚式結婚50年を祝う

2月18日、ホテル大藏（白崎町）で「鹿屋市母子寡婦福祉会ひとり金婚式」が行われました。これは同会員で、結婚50年を迎えた９人を祝福し今後の活躍を祈念するもの。当日は会員約60人が参列し、共に50年の節目を祝いました。

成人の７人に１人がCKD（慢性腎臓病）腎臓を守るためのイベント

2月17日、市保健相談センターで「世界腎臓デー 2024inかのや」が開催されました。当日は約180人が参加し、専門医・管理栄養士による腎臓の基礎知識や食事に関する講演、理学療法士による運動実践、健康相談などが行われました。

肝属の女性消防団員の避難所研修を初開催

2月18日、市役所で「女性消防団員HUG（ハグ）研修」が行われました。これは肝属地区の女性消防団員の研修として市が初開催したもの。40人が参加し県地域防災アドバイザーの立ち合いのもと、避難所運営のシミュレーション等を実施しました。